

園だより あおいそら 6月号

令和 7 年 5 月 16 日（金）熊本大学教育学部附属幼稚園

園長コラム

♪春の心地よさと共に♪

連休が終わり、子どもさん達は、気持ちのよい風の中で遊んでいます。園庭や保育室を回ると、いろんな声をかけてくれました。

「一緒にダンゴムシを探そう！」と年中組の子どもさん。プランターを動かしたり、パンジーの葉をそっと持ち上げたり見つけると大喜びしてたくさんのお話をしてくれました。いろんな虫の秘密も教えてくれました。

サクランボの時期が終わりました。サクランボの近くにはたくさんの種が落ちていました。年長組の子どもさんから、「ハイ、あげます。」そう言って白い種をもらいました。そして、また、たくさん集めてくれました。ばら組さんにお裾分けしたり、そっと、種を土に埋めたりと楽しみが増えました。

私たちは、日々、子どもさん達の思いにできるだけ寄り添いたいと思っています。やってみたいことが実現できるよう支えてあげたいと思っています。そこから生まれる満足感や自己肯定感は、

生きる礎となるのです。子どもさん達と一緒に、この大切な時を過ごすことができ、本当に幸せです。

幼稚園の誕生日♪ 5月13日 附属幼稚園創立記念日～壁画について～

昭和 47 年、附属幼稚園は、新園舎に建て変わりました。今の園舎の土台となっています。現在の門の正面にあるガラスの壁画は、改修（平成 26 年）工事まで下記の写真のような壁画でした。とても大切にされ、熊大附幼を象徴していました。この壁画の絵は、昔本園に通っていた園児が描いた絵を元にデザインされています。たくさんの生き物、植物、子ども達の遊んでいる姿。本園の子ども達そのものです。当時の熊本大学教育学部教授の岡 周末（おか ちかすえ）先生が壁画をデザインし、岐阜県多治見焼きの窯元で制作したクリーム色のタイルでできています。歴代の副園長先生方から、この絵の由来についてや壁面の素晴らしさについてお話いただき、大切にしてきました。私が担任をしていた頃、門前を通る方から、素晴らしいので写真を撮らせてほしいと言われたこともありました。

現在は、様々な理由から、この壁面はなくなり、デザインされた絵が残っています。保護者の皆様にもこの絵を大切に思い、熊大附幼のシンボルとして活用いただいています。子どもさん達は毎日何気なく見ているのですが、きっと、大きくなってこの絵を見ると、たくさんのことを懐かしく思ってくれることでしょう。



現在の壁面



昭和 47 年の壁面

〇お迎え訓練お世話になりました。ご家庭でもお話をしていただいたかと思います。

『地震・火災・大水・不審者訓練』いろいろな場合を想定して練習していきます。

〇草取り・プール掃除ありがとうございました。夏に向けて準備ができます。いつもたくさんのご協力に感謝いたします。